

科目名	保健・体育 Physical Education			担当教員	高木 祐介 (窓口教員：中瀬 巳紀生)		
学年	4	学期	通年	科目番号	08113	単位数	2
分野	一般	授業形式	実技	履修条件	必履修		
学習目標	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった規範的な態度の醸成、を目指す。						
進め方	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	前期：室内球技 選択（バレーボール、バドミントン、卓球） （体育館10） フットサル（体育館10） [前期中間試験]実施せず			実技の授業ではでき得る限り全て出席し、実際に身体を動かす。 各種目ごとに基礎スキルの実技テストをおこなう場合がある。 各種目ごとに異なるチームを作り、単元の後半にゲームを行い、その内容と成績を評価する。			
	バスケットボール（体育館10） 前期末試験 実施せず						
	後期：屋外球技 ソフトボール（運動場10） 選択（テニス、サッカー）（運動場、テニスコート10） [後期中間試験]実施せず						
	サッカー（運動場10） 後期末試験 実施せず						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の割合は実技50%、出席状況50%とする。 ・出席状況は見学を-1点とし、欠課を-50/30点として50点満点で評価する（半期）。 ・服装頭髪や実技中の行動などマナーが守れない者については減点する。 						
学習・教育目標との関係	(A) 広い視野と技術者としての倫理観（倫理） (C) 課題解決の実行力と豊かな創造力（実行力）						
関連科目	保健・体育(1年)→保健・体育(2年)→保健・体育(3年)→保健・体育(4年)→保健・体育(5年)						
教材	参考図書：現代保健体育（大修館書店）						
備考	受講要件：実技では指定の体操服を着用すること。水泳授業時は水着・帽子を着用すること。体育館では指定の体育館シューズを履き、運動場では運動靴を履くこと（革靴等不可）。 グラウンドコンディションが不良の場合は内容を変更することがある。						